

# ご意見ご要望

## ありがとうございます

佐渡市のこれからのまちづくりのため、市民の皆様とさまざまな意見交換を行い、市政に反映していくための「市長とのミニ対話集会」を開催してまいりました。平成23年度は、13団体、380人の方々からご参加いただき、意見交換させていただきました。今年度開催した内容を一部ご紹介いたします。

### ■ 実施団体（敬称略）

- 8月26日 NPO法人佐渡の福祉ゆい（真野）
- 10月2日 新潟県社会福祉士会佐渡ブロック
- 10月15日 佐渡市女性団体連絡協議会
- 10月25日 しまつまごほん・はぐりんず
- 10月28日 尾花町会（金井）
- 11月13日 中興公民館（金井）
- 11月18日 腰細集落（赤泊）
- 1月27日 温泉を愛する会
- 2月12日 赤泊自治会（赤泊）
- 2月12日 晩香会・壮和会・大和公民館（金井）
- 2月19日 小倉・長谷自治公民館（畑野）
- 2月26日 上山田公民館（羽茂）
- 3月4日 松ヶ崎地区連絡協議会（畑野）

### ■ 主な内容

**Q** 災害時対応として、避難所看板や誘導表示の設置が必要ではありませんか？

**A** 東日本大震災では津波で多くの方が犠牲となりました。地震発生後の迅速な行動が極めて大事です。そのため、各家庭で緊急情報を聞くこ



佐渡の福祉ゆいとの対話（ゆいの間）  
障がいを抱える子どもたちに何ができるか…。  
支援関係者と意見交換

とができる緊急情報伝達システムを構築しているところです。  
津波対策としては、県をあげての見直しとなります。県では、県内での津波の影響を調査しているところ  
です。その調査結果を受け、津波のシミュレーションを行い、ハザードマップとして配布する予定です。



はぐりんずとの対話（トキのむら元気館）  
小さな子どもをお持ちのお母さん方と、子育てについて意見交換

**Q** 未就園児の遊べる場所が少ないので子育て支援センターを増やせませんか？

**A** 子育て支援センターの新設については、場所や人的配置など多くの課題があり、すぐに対応できない現状です。現在、佐和田地区中心に子育て支援センター利用についての需要が多いようですので、当面、月に1から2回程度、出張支援センター形式を考えていきたいと思えます。

平成23年度中には、島内およそ500か所に新潟県建設業協会佐渡支部の協力のもと、海抜表示を設置し、さらに、広域避難所には避難所看板と、主要箇所に避難所への誘導表示の設置を行う予定です。

**Q** ジアス認定は喜ばしいですが、反面、農業者が減っているので、農業を守る取組みをお願いしたいです。

**A** 全国的に見て、観光地として魅力がないところの棚田は放棄されてきています。

佐渡でも観光モデルになるところの棚田は集中して整備して、観光にも活かせるよう取組みを進めていきます。いくつかある景観の良い棚田を修復しようとしています。

多くの都市住民が来て、地域の農家と農業体験や郷土芸能などで交流し消費してもらえれば、投資するだけの価値はあると思っています。まずは、棚田の価値を知ってもらい活動を通して守り、使う。そういう形で循環させていきたいと考えています。

### ○ その他の主な質問事項

- 島内ガソリン価格／障がい児への支援
- ／佐渡空港2千メートル化／スクールバス利用の基準見直し／親子が気軽に遊べる場所づくり／緊急情報システム
- ／佐渡汽船カーフェリーの親子優先室
- ／防災訓練への参画／保育園民間委託
- ／地域コミュニティの役割／成年後見利用支援事業／佐渡汽船新造船／農業者支援／佐渡病院／柏崎刈羽原発／温泉の営業時間／学校、保育園の統合／赤泊・寺泊航路／観光資源開発／高齢者等の買い物支援